宮古島市立平良中学校　令和7年度（2025年度）グランドデザイン

【宮古教育事務所】

「共につくる」

○ 自らの可能性を拓き、持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成

（宮教事　総括目標）

- 指導と評価の一体化を基軸とし、資質・能力の育成を目指した授業改善・学校改善の推進を図る
- 機能的な学校組織と意図的・計画的なカリキュラム・マネジメントの推進を図る

【宮古島市】

「学校・地域の特色を活かした魅力ある学校づくりによる幼児児童生徒の資質・能力の育成」

○命どぅ宝
（自他を大切にする力）
○アララガマ （粘り強いカ）
○ユイマール （協働するカ）
○博愛の心
（多様性を受け入れるカ）
※第3次宮古島市
教育ビジョンより

2024年度　学校スローガン

未来へSHINPOする平良中

～ 自己実現を目指し一人一人が可能性を伸ばす ～

【学校教育目標】

凡事に至誠を貫き可能性を伸ばす

【学校経営目標】

「SHINPO力を発揮し未来を切り拓く生徒」の育成

【学校経営５つのＳＨＩＮＰＯとＳＨＩＮＰＯカ】

5つのSHINPO	進歩	親歩	新歩	真歩	心歩
関連	主体的・対話的で深い学び「自立した学習者」			人間性「Well-being」	
５つのSHINPO力 資質・能力	主体性	協働力	創造力	至誠	思いやり

【学校経営方針】

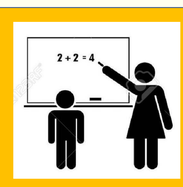
（1） 一人一人の生徒・教職員の「Well-being」の実現に向けた「魅力ある学校づくり」を推進します。「心歩・真歩」
（2）未来志向で、5つのSHINPOをコンセプトとし、5つのSHINPO力を育む「魅力ある学校づくり」を推進します「進歩」
（3）地域（家庭）とともに協働し、主体的（探究的）な学びと活動を創造する「魅力ある学校づくり」を推進します「親歩・新歩」

【目指す教師像】

（1） ワーク・ライフ・バランスを大切にし心身共に健康・健全な教師 「心歩」
(2) 「生徒理解」と「率先垂範」「師弟同行」に努め、言葉より先ずは行動で示す教師 「真歩」
(3) 研究・修養に励み、自らの専門性や教師力を高める教師 「進歩」
(4) チーム「TAIRA」の一員として学校運営に参画・協働し、地域と共に歩む教師 「親歩」
(5) 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、PDCAサイクルを確立し教育実践の改善を図る教師 「新歩」

Plan
SHINPO力の育成を目指す
経営の重点「４本の柱」

Do
日々の授業・行事
学級活動・生徒会活動



【経営の重点】

柱１　学びづくり
授業・学びがSHINPOする

「主体的な学びと確かな学力の保障」

(1)単元を見通した「指導と評価の一体化」
（PDCAサイクルの確立）
（2） 校内研を軸とした組織的研究
（3） 学習の基盤となる資質・能力（言語能力等）の育成
（4）基礎的・基本的な学習内容の定着
（5） 自学自習力を育む学習サイクルの確立
（自己調整学習の確立に向けて）
（6） 特別支援教育における教育課程と支援の充実

柱２　心と体づくり
心と体がSHINPOする

「至誠を心がけ　たくましく生きる」

（1） 社会とのつながり「至誠」の実践
（2） 一人一人の自己実現を支えるキャリア教育の充実
（3） 道徳性（思いやり等）を養う道徳教育の充実
（4） 心身の健康への関心と健康な生活習慣の形成
（5） 体力向上を目指した体育・部活動の充実

柱３　絆づくり
仲間とSHINPOする

「一人一人の尊重と思いやりでWell-being」

（1） 一人一人に居場所のある学級づくり
（安心・所属・承認・自立）
（2） 特別活動（生徒会活動・学校行事）における自治的な取組の推進
（3） 「いじめ見逃しゼロ（積極的認知）」に向けた組織対応
（4） 自立に向けた不登校生徒への支援の充実
（5） インクルーシブ教育の理念の追求

柱４　学校づくり
地域とSHINPOする

「地域と協働する魅力ある学校づくり」

（1）「チームＴＡＩＲＡ」として
「三部会四委員会」組織対応の機能化
（2） 働き方改革の推進と服務規律の確保
（3） 小中連携による効果的な教育実践研究推進
（4） コミュニティ・スクールに向けた基盤づくり（R8年度より）
（5） 地域（企業）と共に「探究的な学び」の推進
（6） 地域との交流と積極的な情報発信

評価方法

①ＳＨＩＮＰＯ力に係る生徒の育ち
学校評価（教職員・生徒・保護者アンケート）
②経営の重点（柱1～4）の取組
学校評価（教職員・生徒・保護者アンケート）
各種調査（全国学力学習状況調査・県版生徒質問紙・学校質問紙調査
アクションプラン取組状況調査等の活用）

Action
企画委員会
校内研究・面談

Check
学習評価・各種調査
学校評価・アンケート